

# 日刊 労働千葉

85. 12. 5  
No. 2110

## 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五、六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

### スト決起に感激

共に闘う……

「国鉄分割・民営化」に反対し、ストライキに立ち上った千葉動力車労働組合のみなさんに対し私たちが全通千葉支部は心から連帯の挨拶を送ります。

現在の「国鉄危機」の原因は、票めあての政治路線の建設と公共投資として行われた過大な政治的投資にあります。国鉄危機の責任は、国鉄を食いものにし、莫大な利益をあげてきた独占資本と政府・自民党こそが負うべきであり、国鉄労働者には一片の責任もありません。

私たち全通千葉支部は、自らの責任を棚に上げ、労働者の犠牲のうえに「国鉄危機」を乗り切ろうとする資本・政府に自民党に対し断固抗議するとともに、千葉動労のストライキを断固支持し、国鉄労働者の闘いの飛躍的前進の出発点となるよう期待するものです。

全通千葉支部

歴史の扉をおし開く決然たるストライキに満腔の敬意を表す。10・26定期大会で「国鉄分割・民営化」反対のスト権を満場一致確立した我らも、貴組合の決起に連帯し、29日の16時より全員ストに入ります。別便にてカンパ三〇万円を送りました。

三菱重工長崎造船労働組合

分割反対、ストライキを支持します。共に闘おう。

高教組銚子支部

貴組合のストライキに実力闘争に限りない共感と連帯の意を表します。共にたたかろう。

国労高崎地本組合員有志

ストライキ断固支持。

共にたたかう。

国鉄吹田工場有志一同

動労千葉の今回のストを支持します。

国鉄の「分割・民営化」政策にストライキを持つて闘うのは当然だと思えます。私は、私の周りの

人に、動労千葉の今回のストの正当性について話していくつもり。もつとカンパで

きればいいのです

が、ごめんなさい。

千円同封します。

（十二月三日付、千葉消印の匿名の封書にて）



11.28~29の両日、支援女性会議の仲間は、千葉駅・津田沼の両スト拠点の近くで夜を徹して支援・教唆行動にかけつけた。（本号紹介の教電・メッセージとは、直接関係ありません。）写真は、11月29日、津田沼駅前の公園。

## 国鉄「分割・民営化」阻止 / 三里塚二期着工粉碎 /

### 家族ぐるみのみ地域ぐるみの闘いで勝利しよう

十一月二四日、成田市田町公民館において、十一・二四成田地域集会所が開催され、組合員・家族九五名、地区労など二五名、総数一二〇名の結集のもと大成功を勝ちとった。

### 労働者の魂をかけ、ストライキで反撃する

#### — 森内支部長が決意 —

大須賀書記長の司会で始った集会で、冒頭あいさつに立った森内支部長は、五千万署名に対する御礼を述べるとともに「十万人の首を切るばかりか、黒を白にせよと労働者に屈服をせまる当局に対し、労働者の魂をかけ、十一月二九日、二四時間ストで反撃する」と決意を明らかにした。

来賓のあいさつの最初に立った反対同

盟の北原事務局長は「農民が土地を奪われ、労働者が職を奪われることは同じことである。共に闘いぬいてきた動労千葉を一億円支援基金運動で必ず守りぬく」と激励された。

成田地区交運を代表して立った伊能事務局長は、分割・民営化は組合つぶしが狙い、同じくるまへの労働者として共に闘いたいと述べられた。

### 地域ぐるみ、

#### — 家族ぐるみの闘いを

#### — 中野委員長が講演 —

### 成田地域集会所 百二十名で大成功

講演に立った中野委員長は、分割・民営化の本質、その狙いを明らかにするとともに、スト貫徹に向けた家族ぐるみの決起を訴え、全体で確認された。

つづいて、小川国彦衆議院議員より内外一体となって闘うとあいさつされ、さらに国労成田電力分会の労働者より、労働者は腰くだけになつてはいない。必ず決起すると固い決意が明らかにされた。

最後に、中鉢支部乗務員会長、高橋青年部長、高木家族組合長よりそれぞれ決意が明らかにされ、「中曾根の思うままの国鉄労働者づくり」を許さないため、断固ストライキで闘おうと全体で確認し終了した。

#### 〈成田支部通信員・発〉

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

動労千葉一〇〇名が大弾圧をけって、敵の庄殺網をうち破って堂々と二四時間ストを宣言どおりうちぬいてしまうこと、さらに意気軒昂と第二波、第三波へと前進していることに、どぎもをぬかれ、腰をぬかしてしまったのだ。だからわれわれの正義のストライキについて何の一言も批判できないのだ。動労千葉の正義のストライキ決起が多くの国鉄労働者、いな、全労働者・人民の心の底に大きな共感と共鳴をよびさまして、事実にはガツクリきているのだ。だからストとは直接関係ない、「ゲリラ」の責任をガナリたてることですりかえているのだ。

これはまさに、中曽根と杉浦の「敗北宣言」以外の何ものでもない。中曽根よ、杉浦よ、問題をはぐらかさないでわれわれの正義の二四時間ストという事実を真正面から見ることができるか、できないだろう。だから、ただただ「ゲリラを惹起した責任」なるこじつけで弾圧しようとしているのだ。

大激動にたたきこまれた

中曽根の「国鉄行革プラン」

これからが本番の猛追撃戦だ！

支配者どもよ、十万人の国鉄労働者の首切りが思いどおりにすんなり進むなどと思つたら大まちがいだ。この計画を大混乱させなければならぬ。どんなキャンペーンをはりめぐらそうが労働者の正義の闘いを孤立させ庄殺することなど絶対にできはしない。

この第一波闘争は、まだまだ闘いのはじまりである。津田沼支部は、報復処分の策動をはね返し、この団結力をさらにうち固め、この一年間の決戦に総決起する決意である。(了)

(津田沼支部通信員・発)